

東邦大学理学部鶴風会第6回中国支部総会報告

中国支部支部長 大倉 健二 (44 化学)

平成30年7月1日(日)、ホテルグランヴィア広島において、鶴風会より伊藤常務理事をお迎えし、中国支部総会を開催しました。当日は支部総会のあり方について参加者全員の熱い思いを語りあいました。伊藤常務理事からは習志野にモダンなガラス張りの健康科学部看護学科が2年目を迎え、オープンキャンパスでは大勢の参加があったとのことでした。しかし、在校生で中国地方出身の学生は3名との報告でした。

これからも、支部総会費用は本部が支援するので総会を開催して、懇親会等については参加者が楽しめるような企画を考えてほしいとのアドバイスがありました。来年度の支部総会は7月7日(日)ホテルグランヴィア広島で開催、懇親会等については6か月かけて楽しめるプランを参加者から募ることにしました。参加者全員少子超高齢化時代の厳しい現実を直視、ピンチをチャンスへの願いをこめて、来年の七夕の日に再会を約束しました。

